

今までの余暇活動は、1つの活動を利用者の方みんなで取り組んでいました。 しかし、足羽学園に入所されている方の年齢層(5歳~17歳)が幅広く、どうして も高学年の利用者の方が主体になってしまうことなど多くの課題がありました。 そこで、すべての利用者の方に充実した余暇活動ができるようにグループ分けを して活動を始めました。

ます。

として次の**3つ**のことがありてきました。その目的・ねらいという名前で企画し実施し

1 利用者の方に対して、落ち着いて有意義な時間をで、利用者の方の不穏をで、利用者の方の不穏をで、利用者の方の不穏をいただくために

活動として「グループ余暇」足羽学園では、週末日中

取り組みについて

して活動を始めました。 今回はその活動内容とグループ化をしたことにより、利用者の方にどのような 変化があったのかご紹介します。

園内の利用者の方を多種

(障がい・年齢)の視点から

グループ分けし、活動す

トについて評価する。
ニット化に向けて「小規模ニット化に向けて「小規模とることで、将来的な小ユをることで、将来的な小ユ

が築けるようにする。もち、職員との信頼関係い環境の中で、安心感をることによって、家庭に近

4

## 活動の始まり

間です。 どんな活動をするか確認し けボードを見て、自分が今日 す。活動時間は30分~1時 3グループ編成になっていま ます。1グループ4~6人で 小学生②中学生③高校生と 構成されており、①未就学~ 利 1用者の方はグループ分

グループ分けボードを見て、それぞれの活動へ移動

ないよう

(alla

LECON

折り紙を

切っています。

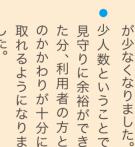
めいばー

いきます。 して、今後の活動につなげて すべき点を記録用紙に記入 それぞれの活動状況や改善 移動して活動します。職員は す。活動時間になると職員と せ・装飾活動などがありま ど)・紙芝居・絵本の読み聞か 運動(マット運動・リレーな 緒にそれぞれの活動場所に

## 利用者の方の声

余暇活動には、カラオケ・軽

- 余暇の種類が増えて うれしい。
- 人数が少ない いっぱい遊べる。 か 5
- 職員といっぱい話せ てうれしい。



ことができています。 ている姿を見て、やり するか楽しみにされ 末どのような活動を 者の方が自分から週 がいをもって取り組む

ポイ捨て選手権に

挑戦中です☆

## 職員の声

少人数で活動するこ べ、利用者の方の不穏 とにより、今までと比

週末に近づくと、利用 した。 取れるようになりま のかかわりが十分に

指していきます。 境を整えて、1人ひとり 的な暖かみのある生活環 に合った丁寧な支援を目 ていき、小人数での家庭 共に楽しい余暇活動にし

児童発達支援管理責任者 欲にもつながっています。 が感じられるのを楽しみ 護者の方が見られ「季節 先に貼ってある作品を保 する場面が見られ、うれ 作品を得意げに見せたり の方同士で会話したり、 日何したの?」と利用者 加することができるよう 動が見られました。しか たいグループに名前がな 葉もいただき、職員の意 に学園に来ます」との言 しく思います。また、玄関 になりました。活動後「今 見通しをもって活動に参 し、回数を重ねるうちに いと納得いかず、すねる行 を始めたころは、自分がし れています。グループ余暇 名の利用者の方が入所さ 今後も利用者の方と 足羽学園では、 瀧波 克代 、現在19